市之瀬幼稚園だより

すみれ

３月号　令和６年２月２６日

ラストラン

園長　本多　郁代

これまで、たくさんの園児を乗せては次の駅へと送り届けてきた市之瀬幼稚園。昭和 27 年５月から 71 年間、保護者や地域の皆様に支えられ見守られてここまで走り続けてきましたが、いよいよラストランを迎える日が近づいてきました。

４月からずっと双子のように、笑い合い励まし合い、時にはけんかもしながら、互いに成長してきた二人。二人にとっても私たち教職員にとっても、市之瀬幼稚園は「心のふるさと」です。たくさんの思い出が詰まった幼稚園とお別れするのは本当に残念ですが、修了の日まで、感謝の気持ちをもちながら、楽しく充実した毎日を過ごしていきたいと思っています。

❀ここでちょっと振り返りタイム！❀

・やりたいことをたくさん見付けた１学期

１学期の終業式では子供たちに３つの賞をプレゼントしました。

- ちょうせんするすがたが　かっこいいで賞
- ちからを　あわせるすがたが　すばらしいで賞
- うたごえが　すてきで賞

この３つの賞から、１学期は互いに友達を意識しながらもそれぞれが「もっと〇〇したい！」と、やりたいことをたくさん見付けたことが伺われます。登り棒やドミノ倒しを楽しんだり、砂遊びで砂まみれになったり、汗びっしょりになって遊びました。

・新しい考えがどんどん生まれた２学期

２学期の終業式も子供たちに３つの賞をプレゼントしました。

- かんがえてうごくすがたが　すごいで賞
- あふれるアイディアが　すてきで賞
- おどってうたうすがたが　かっこいいで賞

この３つの賞から、２学期は二人で力を合わせることは勿論、思考を働かせ長い時間集中して取り組むことや臨機応変に対応することができるようになったことが伺われます。曲に合わせてダンスの振り付けを全て二人で考え披露してくれた時の感動は、忘れられません。

そして３学期。１年間の学びの集大成として、「みろわかのぼうけん」という作品が出来上がり、生活発表会で披露しました。楽しかった日々を振り返りながら、得意の表現力を生かし演じた作品はいかがだったでしょうか。体も心も、どんどん成長していく二人。修了の日まで全力で駆け抜けます。